

2010年8月17日

報道機関各社 様

株式会社アドバコム  
エコチル事務局 臼井 純信

## 「こども環境情報紙エコチル」×「NPO 法人 C・C・C 富良野自然塾」環境教育応援企画 札幌の小学校向けに環境教育訪問授業開始のお知らせ

拝啓 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別なお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、民間企業の株式会社アドバコム（代表取締役 臼井 純信）が発行する“こども環境情報紙 エコチル”と NPO 法人 C・C・C 富良野自然塾（理事長 倉本 聡）が連携し、札幌市内の小学校などを対象に教育現場での環境教育活性化を目的に無料訪問授業サービスの提供を開始いたします。

つきましては、広くこの取り組みを周知できればと考え、誠に勝手ながら報道関係の皆様へ情報を提供させていただきます。

何卒、主旨ご理解の上ご協力賜れますよう、ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

### 実施背景

教育現場での環境教育支援の必要性について…

エコチルの活動を通じて、教育現場での環境教育取り組み状況についてお話を聞く機会がありますが、環境教育の必要性を実感していながら、「費用」や「労力」「知識不足」などを理由にまだまだ具体的に組み立てていないというお話をよく聞いておりました。また、エコチルとしても紙面の発行に留まらず、より具体的に学校現場への環境教育活動に貢献していきたいと考えておりました。

富良野自然塾訪問授業をオススメする理由…

環境問題と一言と言っても、大変幅が広く複雑です。また、ゴミ問題、地球温暖化、CO2削減、省エネ、節水、ゴミ減量などなど、エコ活動などを断片的に知ってはいるものの、そもそも「何故それがエコなのか？」という本質から理解している人は、実は少ないように感じます。富良野自然塾が実践している環境教育は、「そもそも環境問題って何？」というところから始まり「なぜそれが大切なのか？」をしっかりと理解できる内容です。エコが様々なところで話題となっている現代において、自分で考え、自分で判断行動できる大人が育つためにも、ぜひ子供達に知っていただきたい基礎知識だと思いました。

## 訪問授業内容

### 1. 環境問題って何？なぜ大切なの？

地球という星に生きる人類にとって、生きていくのに必要なものとは何か？

それは「空気」・「水」・「土」であり、環境問題はそれらを脅かす重大な問題なのです。

複雑な環境問題を子供の目線から分かりやすく整理して考えます。

### 2. 生物はなぜ進化したのか？

40億年前、地球最初の生物が誕生し、それから現在に至るまでの間、

生物はどのように進化したのか？生物の進化の歴史は、環境の変化に

自らを適応させ生きていく歴史でした。その環境と生物の関係をヒントとして、

人類のこれからの生き方を考えます。

## 応募方法

■開講：通年

■所要時間：1コマ（45分）、もしくは2コマ※学校の事情に合わせてアレンジ可能

■対象：札幌市内の小学生（4年生以上）・中学生・高校生

■受講申込：エコチル事務局へメールでお申込ください。（必ず担任の先生からお願いします）

E-mail: [info@ecochil.net](mailto:info@ecochil.net)（エコチル事務局）

お申込の際は、①学校名、②担任の先生のお名前、③児童人数、④学校所在地、⑤連絡先、

⑥実施希望日時、⑦お申込の理由 を明記してください

※実施希望日の1ヵ月前までにお申し込みください。

※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

※詳しくはエコチル8月号、または「エコチル」ホームページ (<http://ecochil.net>) をご覧下さい。

## 本件に関するお問合せ先

環境教育授業の内容に関するお問合せ

NPO 法人 C・C・C 富良野自然塾

富良野市下御料

TEL : (0167)22-4019 FAX : (0167)22-5385

理事・フィールドディレクター 齋藤 迄

その他のお問合せ

株式会社アドバコム エコチル事務局

札幌市中央区南2条西1丁目1番地 宮本ビル 7F

TEL : (011)200-5566 FAX : (011)200-5577

代表取締役・エコチルプロデューサー 臼井 迄

以上

## 参考資料

エコチルとは… (エコチル事業概要)

エコチルとは、札幌で企業のプロモーションをプロデュースする事業を展開する株式会社アドバコム (代表取締役 臼井 純信) がもう一方の柱として展開している事業で、「子供達から始まる環境活動の輪」をテーマに、地域社会 (行政・学校・家庭・NPO) と企業を巻き込んだ環境コミュニティ形成と拡大を目指した事業です。事業は大きく分けて4つのサービスで構成されており、一つ目は札幌市内の小学校で毎月10万部無料配布されている“こども環境情報紙 エコチル”の発行、二つ目に紙面を通じてエコに興味をわいた子供達やその親を対象にエコへの理解を深めていただく場として定期的に開催しているイベント“エコチル環境バスツアー”、そして三つ目にエコへの理解が深まった家庭とエコに積極的に取り組む企業や団体の架け橋となって、生活の中にエコな商品をお届けする“環境ネットショップ エコチルショップ”、最後に全体のエココミュニケーションを活性化させるという位置付けで毎月全道放送している“こども環境情報番組 エコチル TV”といったサービスで構成されており、現在ではエコチル約10万部の読者、エコチル TV 約20万世帯の視聴者、約1500人のエコチル会員に支えられ地域の環境コミュニティを形成しております。「エコチル」というネーミングはエコロジー (ecology)+チルドレン (Children)から作られた造語で、「地球環境保全に積極的取り組む子供達＝”エコチル”の輪を広げていきたい」という想いから開発されました。また、この事業は社会貢献的要素が強い事業ですが、企業の事業活動との融合を前提としており、エコロジーとエコノミーが共生する持続可能な事業を目指しております。

※詳細に関してはホームページ URL : <http://www.ecochil.net> にてご確認ください。

## 「NPO 法人 C・C・C 富良野自然塾」概要

富良野自然塾とは… (富良野自然塾事業概要)

富良野自然塾は、2005年春、富良野市の富良野プリンスホテルゴルフコースの閉鎖を機に、作家である倉本聰の呼びかけでゴルフ場を元の森に還そうと植樹による自然返還事業を始めました。また同時に、そのフィールドを使い環境教育事業にも取り組み始めました。そして2006年4月よりNPO法人 (理事長 倉本聰) として事業を本格的に開始しました。

失われ続ける森林を少しでも取り戻すことは私たち人類の未来にとって重要な課題です。また、環境問題について意識の高い人材を育成することが環境問題を解決する上でとても重要だと考えています。しかし、環境問題は多岐にわたり複雑で理解しにくい問題です。そこで富良野自然塾では、環境問題とは地球の問題であり、そこにある空気・水・土の問題であると整理し、そのことが心に落ちて理解できる体験プログラムの必要性を強く感じ開発に努めてまいりました。心に落ちる体験には、体験者の五感で感じる事、自分の頭で考えることが大切であり、プログラム内容の表現方法と案内役であるインストラクターの表現力が大切でとと考えています。そのために私たちは、これまで「富良野塾」で培ってきた演劇的手法をプログラムに取り入れて行っています。

富良野自然塾は、日本の環境教育の新たなモデルとなるプログラムを展開することにより環境教育の推進に努めております。

※事業、プログラムの詳細に関してはホームページ URL : <http://furano-shizenjuku.yosanet.com> にてご確認ください。